

選挙と投票率

県内の各種選挙の投票率は全体で40%から50%台という低いレベルまで下がっており、特に若者の投票率は低く、20代は30%前後にとどまっています。

また、令和6年に実施された衆議院議員総選挙では、静岡県内の10代(18歳・19歳)の投票率は38.46%と、20代に次いで低くなっています。(下の年代別投票率グラフを参照)

少子高齢化の中、数少ない若者の声を政治に届けるにはこれで十分でしょうか？

2022年度から高等学校の必修科目に「公共」が新設されるなど、皆さんには、多様化していく社会の主役となって、活躍していくことが期待されています。

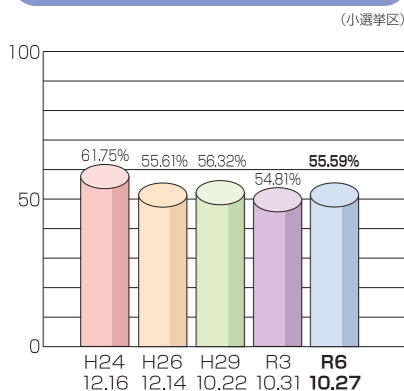
今のうちからニュースなどで政治や選挙の情報をキャッチし、自分の考えを持つように心がけましょう。



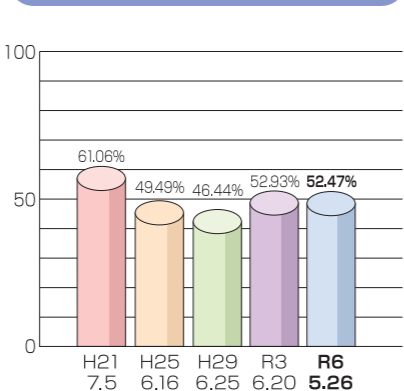
一票の力は、小さくない。

最近の投票率の推移(県内)

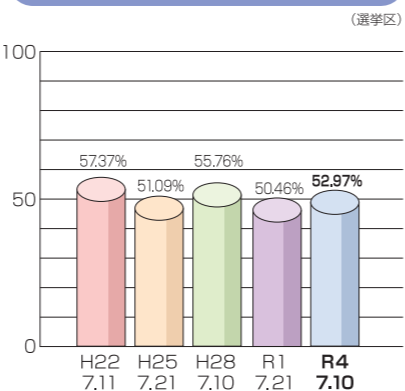
衆議院議員総選挙



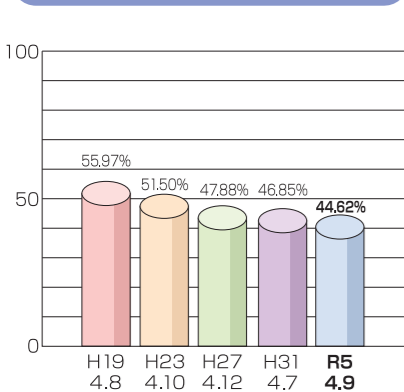
県知事選挙



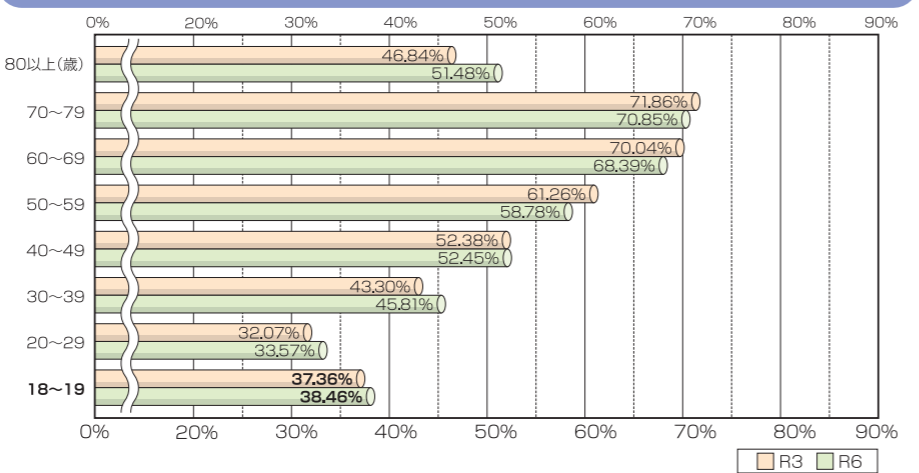
参議院議員通常選挙



県議会議員選挙



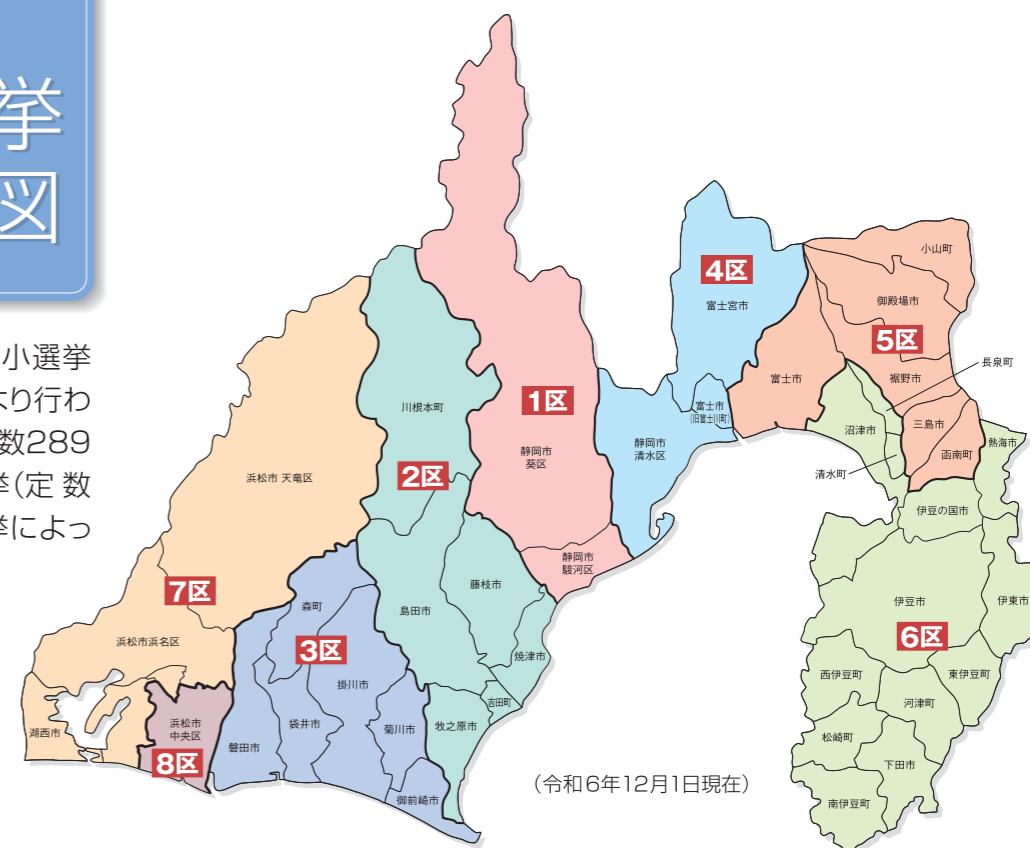
衆議院議員総選挙(小選挙区) 静岡県の年代別投票率



衆議院議員選挙選挙区図

衆議院議員の選挙は、小選挙区比例代表並立制により行われ、小選挙区選挙(定数289人)と比例代表選挙(定数176人)の二つの選挙によって議員を選びます。

静岡県における小選挙区の区割り



※浜松市中央区のうち、旧西区及び旧北区の区域は7区となります。

比例代表選挙の選挙区と各選挙区別定数(定数176人)

